

『救急患者 X』

麻生 幾／著 幻冬舎 (分類:Fア)

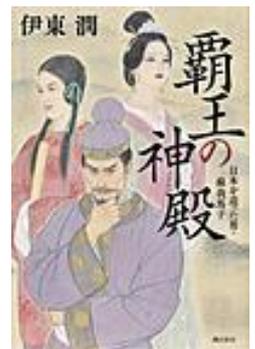
<呪><恨><殺>、そして<救い出して>。高度救命救急センターに現れる、謎の血文字。ナースたちは、5年前の“あの事件”を思い出し…。医療サスペンスホラー。『ポンツーン』連載を加筆修正。



『霸王の神殿(ごうどの)』

伊東 潤／著 潮出版社 (分類:Fイ)

まだ日本が“国”として意識されていなかった時代。蘇我氏を束ねる馬子は仏教を基盤に据えた国造りを目指し邁進していく。政敵たちとの死闘、推古天皇と厩戸王子(聖徳太子)との愛憎。その果てに馬子が見たものとは…。



『小さな神たちの祭り』

内館 牧子／著 潮出版社 (分類:Fウ)

2011年3月11日、家族全員が津波に吞まれてしまい、8年経った今も消息不明。「自分だけが幸せにはなれない」と苦しむ一人の青年の心の復興を鮮やかに紡ぎだす。同名ドラマを脚本家・内館牧子自らが書き下ろしで小説化。



『片をつける』

越智 月子／著 ポプラ社 (分類:オ)

まもなく40歳になる阿紗は、隣の部屋に住む老婆・八重を助けたことがきっかけで、彼女の部屋の片づけを手伝うことになる。片づけを進める中で、明らかにする八重の過去。そして阿紗も幼少期の記憶が蘇ってきて-



『道連れ彦輔居直り道中』

逢坂 剛／著 毎日新聞出版 (分類:Fオ)

時は文政10年の春。素性も分からぬ美少女の道連れで中山道を行く彦輔たちに、数々の難関が襲う。敵の真の狙いとは?江戸の旅情あふれる時代小説。カラー口絵も掲載。『毎日新聞』日曜くらぶ連載を単行本化。



『あしたの官僚』 周木 律／著 新潮社 (分類:Fシ)

国内で猛威を振るう奇病の原因究明に乗り出した厚生労働省キャリア技官の松瀬尊。だが、ある謀略により「忖度官僚」として国民の非難の的となり…。組織とは、政策とは、そして国家とは。官僚たちのリアルを描いた小説。



『つまらない住宅地のすべての家』

津村 記久子／著 双葉社 (分類:Fツ)

静かに並ぶ住宅地の家々。ある出来事をきっかけに、それぞれの家の、それぞれの事情が見えてきて…。日々いろいろな思いを抱えて暮らす人々を、たくみな構成と描写で浮き彫りにした長編小説。『小説推理』連載を単行本化。



『風巻』 鳴神 響一／著 早川書房 (分類:Fナ)

明治7年、南伊豆入間村。漁師・達吉は、ひとりの異人の命を救った。かくまえばお咎めを受けることは必至だが、達吉は助ける決意をする。やがて異人の数奇な運命が明らかになり…。ニール号沈没の史実を題材にした友情物語。



『春を待つ』 松下 隆一／著 PHP 研究所 (分類:Fマ)

息子を亡くし、離別した夫婦。数年後の命日の前日、夫は息子の骨壺を抱え、家に引きこもる妻を訪ねる。だがその途上、夫は実の両親を亡くした少年と出会い、妻の家に一緒に泊まることに。その日から心に仄かな灯が生まれ…。



『魂手形』 宮部 みゆき／著 KADOKAWA (分類:Fミ)

神田の袋物屋・三島屋で行われている風変わりな百物語。従妹のおちかから聞き手を引き継いだ富次郎は、語られた話を墨絵に描き封じ込めることで聞き捨てとっていた…。『小説 野性時代』連載に加筆修正。



『青い孤島』

森沢 明夫／著 双葉社 (分類:Fモ)

小さな広告会社で働く小島佑は、僻地の小島へと島流しにされた。しかも社長に「島を活性化させるアイデアが出るまで戻ってくるな」と言われてしまう。島の人たちは、なぜか東西対立していて…。『小説推理』連載を単行本化。



『オリンピックデザイン全史 1.2』

マルクス・オスターヴァルダー／著 河出書房新社 (分類:757 オ)

1896年アテネ大会から2020年東京大会まで、オリンピックのエンブレムや公式ポスター、ピクトグラム、公式刊行物、入場券、マスコット、受賞メダルなど、各大会の独自のデザインとデザイナーを広く網羅的に紹介する。

